

バージョンアップガイド

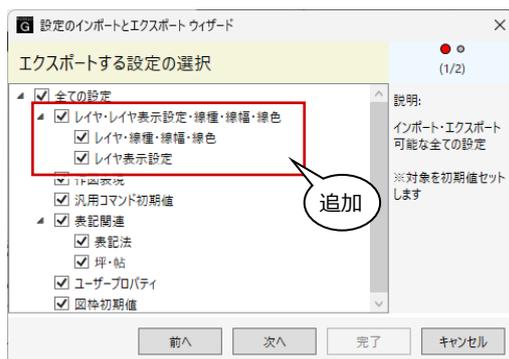
[2024の新機能]

共通機能

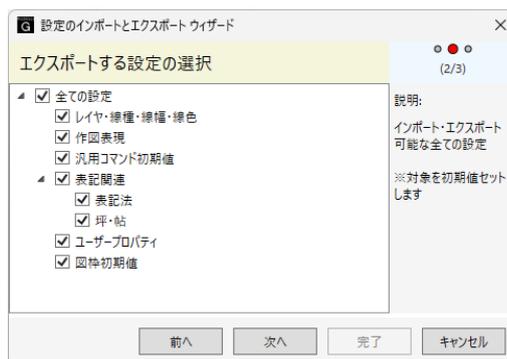
レイヤ表示設定を共有可能に

インポート・エクスポートの対象に「レイヤ表示設定」を追加しました。

これにより、レイヤ表示設定を共有できるようになります。また、データ作成時と同じ表示で作成できます。



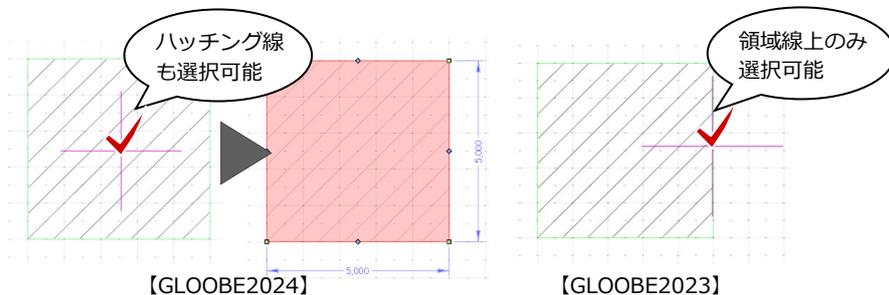
【GLOBE2024】



【GLOBE2023】

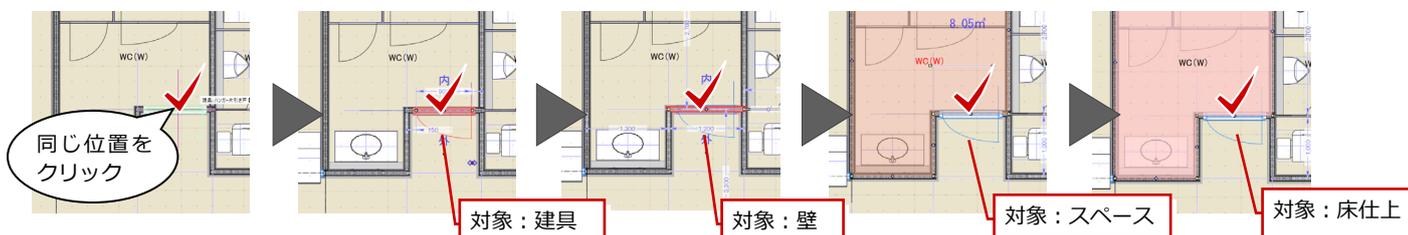
選択し易さの改良

これまで、平面ビューでスラブなど領域部材を選択する場合、領域線上のみ選択が可能でしたが、ハッチング線での選択に対応しました。また、部材が複数かさなっている場合に、同一点をクリックすると対象が変わるようになり、選択し易くなりました。



【GLOBE2024】

【GLOBE2023】



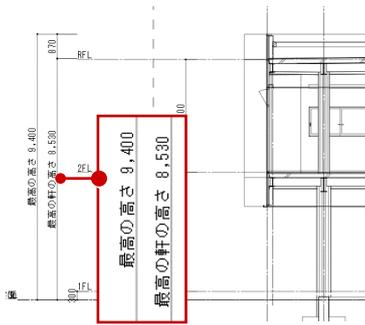
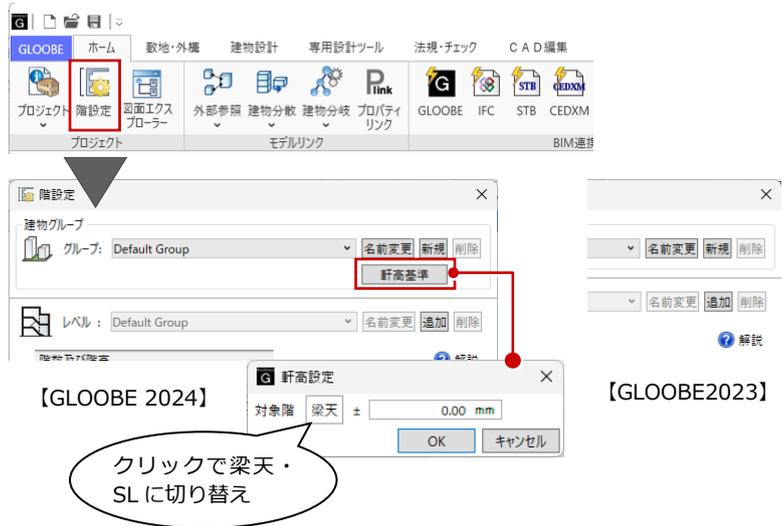
階設定-軒高基準設定

「ホーム」タブの「階設定」に軒高基準の設定を追加しました。

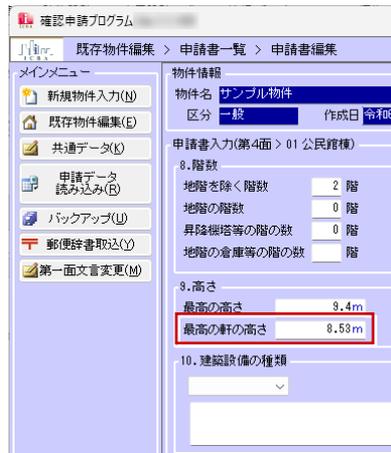
これにより、建築基準法の最高の軒の高さが、対象階のSLや梁天の高さと異なる場合に設定できます。

断面系の図面を作図した場合、「最高の軒の高さ」寸法に反映し、確認申請書においても連携されます。

※ 法規オプションを購入されている場合のみ設定可能です。



【確認申請断面図】



【確認申請プログラム】



【建築確認申請書作成ツール】

座標系基準点

「2点指定」を追加しました。

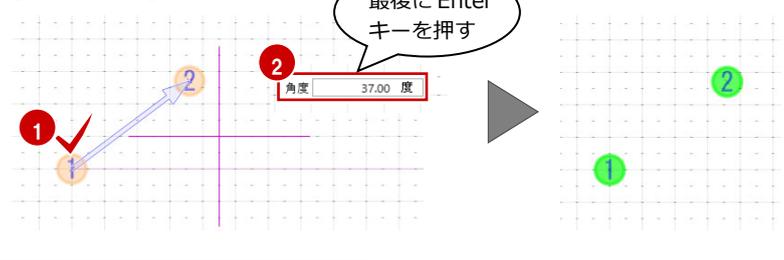
「2点指定」をONにすると、座標の1点目と2点を設定できます。

これにより、「点群読み込み」から点群データを読み込むときに、移動や回転をすることなく建物モデルと公共座標系の現況点群との位置合わせがより正確に手間なくできます。

「地理座標系」も同様に、2点指定が可能です。



【2点指定入力】



「点群読み込み」ダイアログで「自動配置」ONの場合、座標系基準点で設定した基準点を考慮して読み込みます。

IFC 入出力

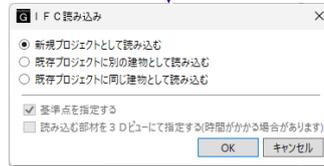
IFC4 形式の IFC ファイルの読み書きに対応しました。

従来の IFC2×3 形式に加え、IFC4 形式の IFC ファイルの読み書きが可能になります。



【IFC 読み込み】

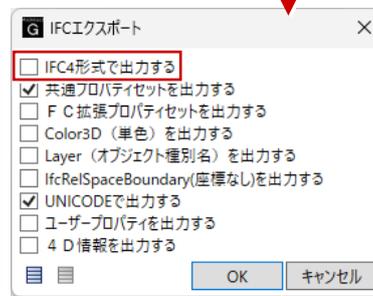
IFC ファイルに書き込まれている情報から IFC2×3 か、IFC4 かを自動的に判別して読み込みます。



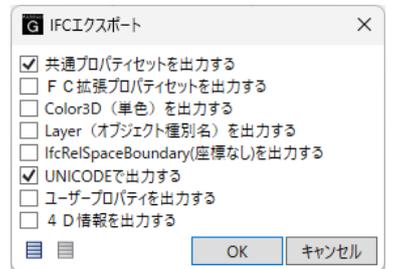
【IFC 出力】

「IFC4 形式で出力する」が ON の場合は「IFC4」で、OFF の場合は「IFC2×3」形式で出力します。

- ※ IFC4 で出力する場合、特定のモデルビュー定義 (MVD) には対応していません。
- ※ IFC2×3 で出力する場合、モデルビュー定義 (MVD) は Coordination View に対応しています。



【GLOOBE 2024】

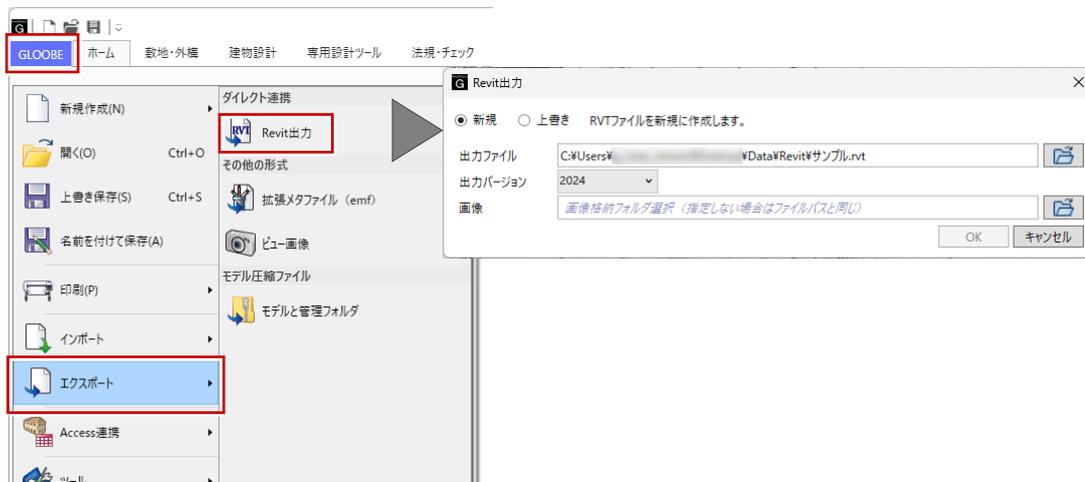


【GLOOBE 2023】

Revit 出力

Revit 出力に対応しました。

Revit の最新バージョン (2024) への出力が可能になります。



【GLOOBE2024】

※ Revit の「直接形状」オブジェクトとして出力されます。

※ 「Revit 出力」から出力したファイルを「Revit 読み込み」で読み込んだ場合、汎用オブジェクトとして読み込まれます。専用オブジェクトとして出力していないため、同じ種類の部材としては読み込まれません。

専用ツール

勾配編集の拡張

勾配編集でタイプが「片流れ 基準線方向」の場合、基準高を設定できるようになりました。高さを個別で編集する手間が軽減されます。



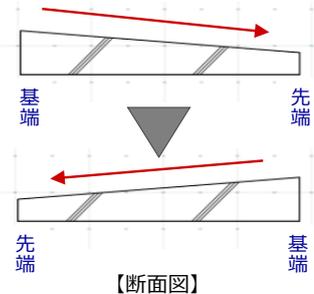
【GLOBE2024】



【GLOBE2023】

基端位置変更

片持ち基礎・キャンティスラブの異厚の方向を変更できるコマンドを新設しました。片持ち部材の編集の手間が軽減されます。



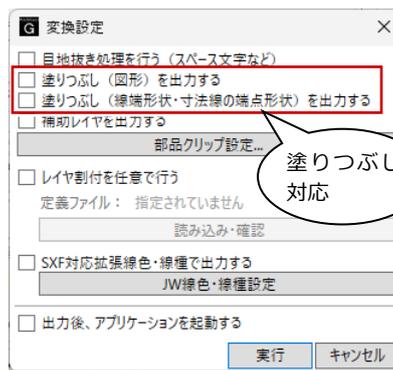
【断面図】

CAD 編集

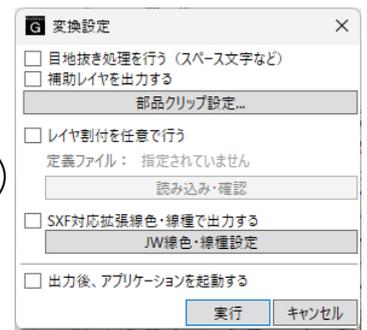
JWW 書き込み

塗りつぶしの書き込みに対応しました。図形や線端形状の塗りつぶしが出力できるようになります。

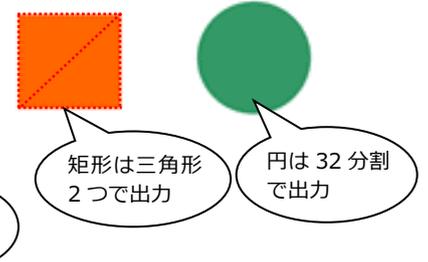
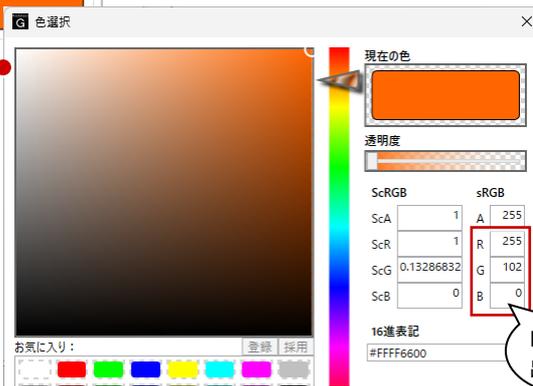
※ 図形の塗りつぶしは任意色で出力します。
RGB の値で出力し、透明度は出力しません。



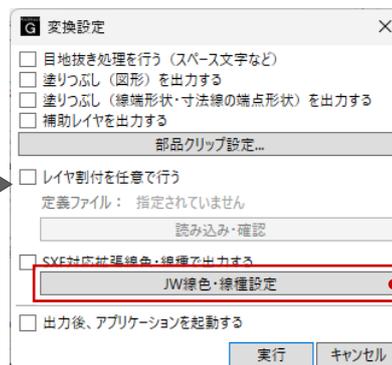
【GLOBE2024】



【GLOBE2023】



※ 線端形状の塗りつぶしは、GLOBE 線幅に該当する Jw 線色 No を出力します。



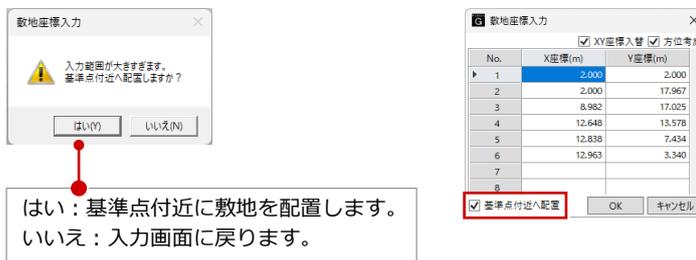
GLOBE線幅	JW線色No
1: 0.13	1
2: 0.18	2
3: 0.25	3
4: 0.35	4
5: 0.50	5
6: 0.70	6
7: 1.00	7
8: 1.40	8
9: 2.00	1
10: 0.10	2
11: 0.05	3

敷地・外構

敷地の座標入力 of 改良

有効範囲の超える敷地の入力

入力した座標値が有効範囲を超える場合でも、位置を調整して配置できるようになりました。また、「敷地座標入力」ダイアログに「基準点付近へ配置」の項目を追加し、チェックを ON にすることで基準点付近に敷地を配置することができるようになりました。



座標値のコピー・貼り付け

複数セルを対象としたコピー・貼り付け・切り取り・削除に対応しました。座標を手入力する手間が軽減されます。



建物設計

上下フカシの拡張

異厚フカシ

これまで、入力モードが「面指定」の場合は異厚のフカシが入力できませんでしたが、形状タイプを設定を追加して異厚のフカシが入力できるようになりました。

また、入力モードが「面指定」「矩形」「多角形」の場合、形状タイプに「3点」を追加し、3点の高さと位置を指定してフカシを入力できるようになりました。

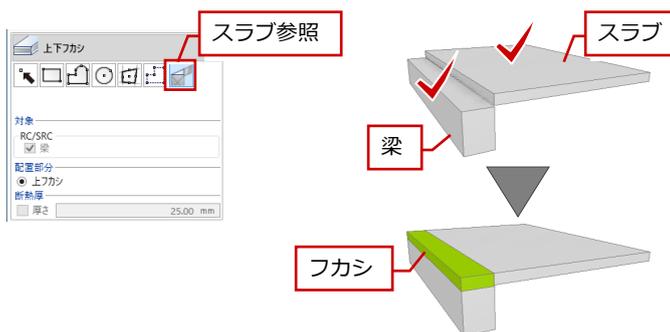


スラブ参照

入力モードに「スラブ参照」を追加し、スラブの上面の高さを参照して梁に上フカシを入力できるようになりました。

※ 高さを参照できる部材は、スラブ、キャンティスラブ、べた基礎、片持ち基礎です。

※ 「スラブ参照」では下フカシは入力できません。



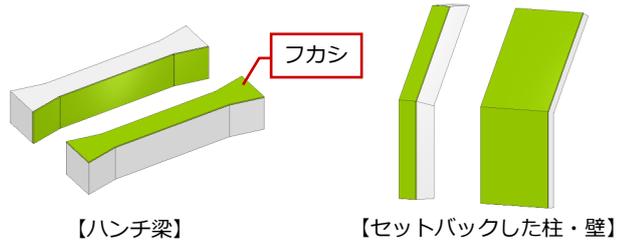
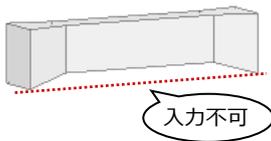
フカシの入力対象の拡張

ハンチ梁に対して、フカシ・増し打ちが入力できるようになりました。

また、セットバックした柱に横フカシ・横増し打ち、セットバックした壁に横フカシが入力できるようになりました。

フカシ表現の精度が上がります。

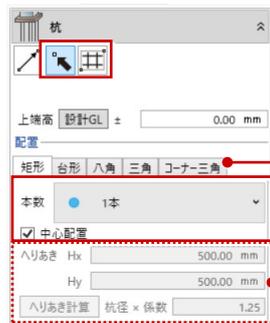
- ※ 勾配が設定されているハンチ梁には入力できません。
- ※ 梁の下面が水平でないハンチ梁の下面には入力できません。



杭の中心配置

入力モードが「要素参照」「要素範囲参照」のとき、杭の本数が1本の場合にへりあきを考慮せず独立基礎の中心に配置することができるようになりました。

今まで杭を入力後に位置を調節していた手間が軽減されます。



「矩形」タブ以外の形状では「中心配置」を設定することができません。

「中心配置」が ON のときへりあきの設定はできません。

階段の見上げ表示の対応

見上表示にした場合に下階に降りる階段を描画しないようになりました。

見上と見下で図面の表現を変えることができるようになりました。

- ※ スロープも同様に見上表示では非表示になります。
- ※ 見上/見下の切り替えは、作図表現（縮尺・レベル他）で設定します。

梁・スラブ・スラブ開口・水平プレス
 入力・表示 ● 見上方向 ○ 見下方向
 ※ 「基礎優先表示」および「R階」は、常に見下げ表示です

【1階から2階の階段を入力した場合】



【2F 見上】



【2F 見下】

法規・チェック

延べ面積の容積率緩和対応

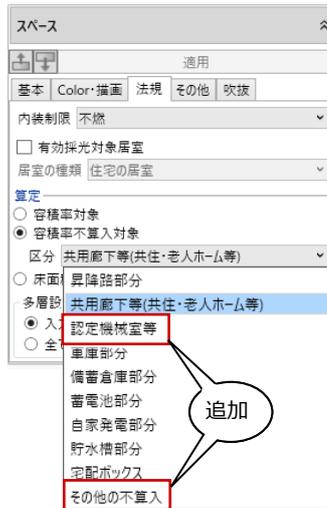
法改正による容積率緩和項目追加に伴い、容積率不算入対象の区分に「認定機械室等」「その他の不算入」を追加しました。

法改正に則した容積率の算定が可能になります。

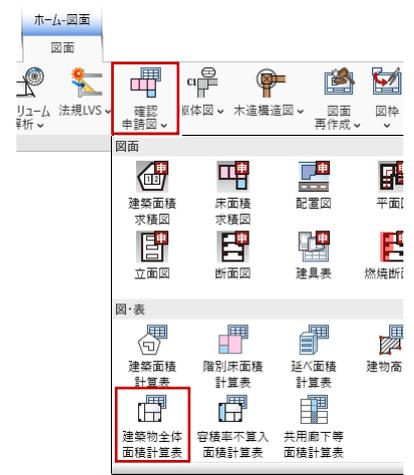
以下のコマンドで追加されています。

- ・ スペース
- ・ 床面積区分
- ・ 延べ面積・容積率確認
- ・ 建築物全体面積計算表
- ・ 容積率不算入面積計算表

【スペース】



【建築物全体面積計算表】



建築物全体面積計算表

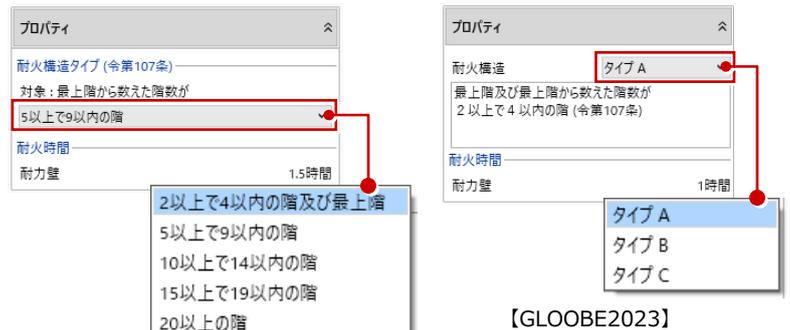
建物グループ	階	地階部分		昇降路部分		共用廊下等		容積率不算入対象面積(m ²)										容積率対象面積(m ²)	床面積(m ²)
		専用部分	接分対象部分	専用部分	接分対象部分	認定機械室等	車庫部分	備蓄倉庫部分	蓄電池部分	自家発電部分	貯水槽部分	宅配ボックス	その他の不算入						
Default Group	PH1	0.00	0.00	24.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	24.50	49.00	
	7F	0.00	9.99	70.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	238.21	318.49	
	6F	0.00	9.99	70.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	238.21	318.49	
	5F	0.00	9.99	70.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	238.21	318.49	
	4F	0.00	9.99	70.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	238.21	318.49	
	3F	0.00	9.99	70.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	238.21	318.49	
	2F	0.00	9.99	24.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	268.01	302.50	
	1F	0.00	9.99	45.85	82.75	0.00	81.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	174.42	394.61	
	B1	233.56	9.99	74.94	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	318.49	
	BP1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
建築物全体		233.56	79.92	521.24	82.75	0.00	81.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1857.98	2657.05	

耐火性能 基準時間の追加

主要構造部の耐火時間に「1.5時間」「2.5時間」を追加しました。

法改正に則した耐火時間の設定が可能になります。

壁、柱、スラブ、梁 も耐火基準時間が追加され選択できます。



有効採光計算の緩和対応

法改正による居室の採光規制緩和に伴い、有効採光対象居室の、居室の種類に「緩和用」を追加しました。

適切な選択枝からの有効採光面積計算が可能になります。



GLOBE 2024

有効採光 換気・排煙 全般	
有効採光計算係数の設定	
採光補正係数	必要面積係数
居室の種類	必要面積係数 (1/a)
	a
住宅の居室	7
幼稚園・小中高校の教室	5
その他の学校の教室	10
保育園の保育室	5
病院・診療所 (病室類)	7
病院・診療所 (娛樂類)	10
寄宿舍・下宿 (寢室類)	7
児童福祉施設 (寢室類)	7
児童福祉施設 (保育類)	7
児童福祉施設 (娛樂類)	10
住宅の居室(緩和)	10
保育園の保育室等(緩和)	7
小中高校の教室(緩和)	7
小中高校の教室(緩和)換気設備	10
その他	20

【GLOBE 2024】

GLOBE 2023

有効採光 換気・排煙 全般	
有効採光計算係数の設定	
採光補正係数	必要面積係数
居室の種類	必要面積係数 (1/a)
	a
住宅の居室	7
幼稚園・小中高校の教室	5
その他の学校の教室	10
保育園の保育室	5
病院・診療所 (病室類)	7
病院・診療所 (娛樂類)	10
寄宿舍・下宿 (寢室類)	7
児童福祉施設 (寢室類)	7
児童福祉施設 (保育類)	7
児童福祉施設 (娛樂類)	10
その他	0

【GLOBE2023】

申請書の書式変更に伴う連携対応

法改正により確認申請書の書式が変更となりました。

これにより建築確認申請書作成ツール、確認申請書プログラムの様式も変更されたため、書式変更に伴う連携に対応しました。

新書式への連携が可能になります。



【建築確認申請書作成ツール】

建築面積・建蔽率確認

建築面積合計	447.71 m ²
敷地面積合計	770.75 m ²
建蔽率	447.71 / 770.75 = 58.09 %
建蔽率限度	80.00 %
建蔽率判定	58.09 ≦ 80.00

延べ面積・容積率確認

容積率不算入対象区分	容積率不算入対象面積(m ²)	容積率不算入面積(m ²)
地階部分(住宅・老人ホーム等)	233.56	233.56
昇降路部分	79.92	79.92
共用廊下等(住宅・老人ホーム等)	603.99	600.97
認定機械室等	0.00	0.00
車庫部分	81.80	81.80
備蓄倉庫部分	0.00	0.00
蓄電池部分	0.00	0.00
自家発電部分	0.00	0.00
貯水槽部分	0.00	0.00
宅配ボックス	0.00	0.00
その他の不算入	0.00	0.00
合計	999.07	996.05

確認申請書(建築物) - 第三面

申請部分	申請以外の部分	合計
イ. 建築物全体		447.71 m ²
ロ. 建蔽率の算定の基礎となる建築面積		447.71 m ²
ハ. 建蔽率	58.09 %	建蔽率計算

11. 延べ面積

申請部分	申請以外の部分	合計
イ. 建築物全体		2657.05 m ²
ロ. 地階の住宅又は老人ホーム等の部分		233.56 m ²
ハ. エレベーターの昇降路の部分		79.92 m ²
ニ. 共同住宅又は老人ホーム等の共用の廊下等の部分		603.99 m ²
ホ. 認定機械室等の部分		0.00 m ²
ヘ. 自動車車庫等の部分		81.80 m ²
ト. 備蓄倉庫の部分		0.00 m ²
チ. 蓄電池の設置部分		0.00 m ²
リ. 自家発電設備の設置部分		0.00 m ²
ル. 貯水槽の設置部分		0.00 m ²
レ. 宅配ボックスの設置部分		0.00 m ²
ヲ. その他の不算入部分		0.00 m ²
リ. 住宅の部分		0.00 m ²
カ. 老人ホーム等の部分		1831.24 m ²

【法規・チェック-申請面積】

- 「建築面積・建蔽率確認」ダイアログの「建築面積合計」 →
- 「建築面積・建蔽率確認」ダイアログの「建築面積合計」 →
- 「延べ面積・容積率確認」ダイアログの「認定機械室等」 →
- 「延べ面積・容積率確認」ダイアログの「その他の不算入」 →

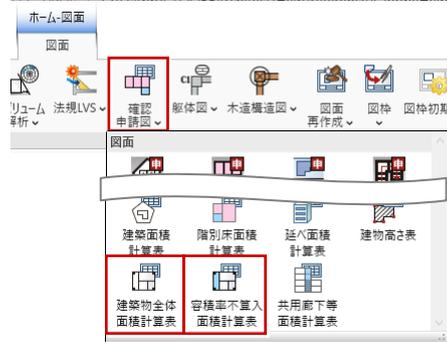
【確認申請書(建築物) - 第三面】

- 10. 建築面積「イ. 建築物全体 申請部分」
- 10. 建築面積「イ. 建築物全体 合計」
- 11. 延べ面積「ホ. 認定機械室の部分 申請部分」
- 11. 延べ面積「ヲ. その他の不算入部分 申請部分」

面積ゼロの容積率不算入対象区分の対応

「建築物全体面積計算表」「容積率不算入面積計算表」について、面積ゼロの容積率不算入対象区分項目は作表しないよう対応しました。

手動で表編集する手間を軽減します。



容積率不算入面積計算表

列幅自動設定

容積率不算入対象区分

容積率不算入対象面積

容積率不算入面積

【GLOBE2023】

容積率不算入面積計算表

面積ゼロの容積率不算入対象区分行を省略

列幅自動設定

容積率不算入対象区分

容積率不算入対象面積

容積率不算入面積

【GLOBE2024 OFF の場合】

容積率不算入対象区分	容積率不算入対象面積 (㎡)	容積率不算入面積 (㎡)
2階部分 (住宅・老人ホーム等)	233.56	233.56
昇降路部分	79.92	79.92
共用廊下等 (共住・老人ホーム等)	603.99	601.02
認定機械室等	0.00	0.00
車庫部分	81.60	81.60
備蓄倉庫部分	0.00	0.00
蓄電池部分	0.00	0.00
自家発電部分	0.00	0.00
貯水槽部分	0.00	0.00
宅配ボックス	0.00	0.00
その他の不算入	0.00	0.00
合計	999.07	996.10

面積ゼロ区分表示

容積率不算入面積計算表

面積ゼロの容積率不算入対象区分行を省略

列幅自動設定

容積率不算入対象区分

容積率不算入対象面積

容積率不算入面積

【GLOBE2024 ON の場合】

容積率不算入対象区分	容積率不算入対象面積 (㎡)	容積率不算入面積 (㎡)
2階部分 (住宅・老人ホーム等)	233.56	233.56
昇降路部分	79.92	79.92
共用廊下等 (共住・老人ホーム等)	603.99	601.02
車庫部分	81.60	81.60
合計	999.07	996.10

面積ゼロ区分省略

建築物全体面積計算表

列幅自動設定

建物グループ

階

地階部分 (住宅・老人ホーム等)

昇降機部分

共用廊下等 (共住・老人ホーム等)

【GLOBE2023】

建築物全体面積計算表

面積ゼロの容積率不算入対象区分行を省略

列幅自動設定

建物グループ

階

地階部分 (住宅・老人ホーム等)

【GLOBE2024 OFF の場合】

建物グループ	階	容積率不算入対象区分 (㎡)										容積率不算入面積 (㎡)	床面積 (㎡)		
		地階部分	昇降路部分	共用廊下等	昇降機部分	車庫部分	備蓄倉庫部分	蓄電池部分	自家発電部分	貯水槽部分	宅配ボックス			その他の不算入	
A棟	PH	0.00	0.00	24.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	24.50	48.00
	F	0.00	0.00	70.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	238.21	318.40
	SF	0.00	0.00	70.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	238.21	318.40
	2F	0.00	0.00	70.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	238.21	318.40
	3F	0.00	0.00	70.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	238.21	318.40
	4F	0.00	0.00	70.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	238.21	318.40
B棟	PH	0.00	0.00	24.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	24.50	48.00
	F	0.00	0.00	74.84	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	238.21	318.40
合計		233.56	79.92	522.99	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1857.90	2857.00

面積ゼロ区分表示

建築物全体面積計算表

面積ゼロの容積率不算入対象区分行を省略

列幅自動設定

建物グループ

階

地階部分 (住宅・老人ホーム等)

【GLOBE2024 ON の場合】

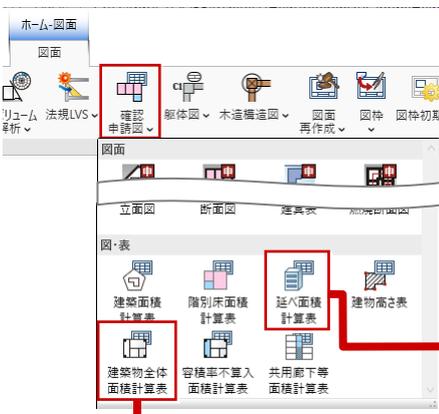
建物グループ	階	容積率不算入対象区分 (㎡)					容積率不算入面積 (㎡)	床面積 (㎡)
		地階部分	昇降路部分	共用廊下等	昇降機部分	車庫部分		
A棟	PH	0.00	0.00	24.50	0.00	0.00	0.00	48.00
	F	0.00	0.00	70.29	0.00	0.00	0.00	238.21
	SF	0.00	0.00	70.29	0.00	0.00	0.00	238.21
	2F	0.00	0.00	70.29	0.00	0.00	0.00	238.21
	3F	0.00	0.00	70.29	0.00	0.00	0.00	238.21
	4F	0.00	0.00	70.29	0.00	0.00	0.00	238.21
B棟	PH	0.00	0.00	24.50	0.00	0.00	0.00	48.00
	F	0.00	0.00	74.84	0.00	0.00	0.00	238.21
合計		233.56	79.92	522.99	0.00	0.00	0.00	1857.90

面積ゼロ区分省略

面積ゼロの建物グループ・R階の対応

「延べ面積・容積率計算表」「建築物全体面積計算表」について、建物グループが複数ある場合に面積ゼロの建物グループは作表しないように対応しました。

また、面積ゼロのR階も同様に作表しないように対応しました。手動で表編集する手間を軽減します。



建築物全体面積計算表も同様に、面積ゼロのR階や、建物グループは作表しません。

【GLOBE2023】

面積ゼロのR階表示

A種			B種		
階	容積率不算入対象面積(m ²)	容積率対象面積(m ²)	階	容積率不算入対象面積(m ²)	容積率対象面積(m ²)
R	0.00	0.00	-	-	-
PH1	24.50	24.50	-	-	-
7F	80.29	238.22	-	-	-
6F	96.57	238.22	-	-	-
5F	96.57	238.22	-	-	-
4F	96.57	238.22	-	-	-
3F	96.57	238.22	-	-	-
2F	50.78	238.01	R	-	-
1F	236.48	174.44	1F	0.00	0.00
合計(m ²)	778.33	1658.05	合計(m ²)	0.00	0.00

面積ゼロの建物グループ表示

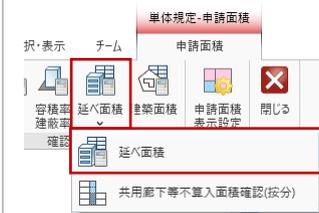
【GLOBE2024】

R階表示なし

延べ面積計算表		
階	容積率不算入対象面積(m ²)	容積率対象面積(m ²)
PH1	24.50	24.50
1F	80.29	238.22
6F	96.57	238.22
5F	96.57	238.22
4F	96.57	238.22
3F	96.57	238.22
2F	50.78	238.01
1F	236.48	174.44
合計(m ²)	778.33	1658.05

面積ゼロの建物グループ表示なし

モデル入力の「法規・チェック」タブの「申請面積」から「延べ面積・容積率確認」で確認したときに、面積ゼロのR階や、建物グループはグレー表示になります。



面積ゼロのR階はグレー表示

A種	B種	容積率不算入対象面積(m ²)	容積率対象面積(m ²)
R		0.00	0.00
PH1		24.50	24.50
7F		80.29	238.22
6F		96.57	238.22
5F		96.57	238.22

面積ゼロの建物グループはグレー表示

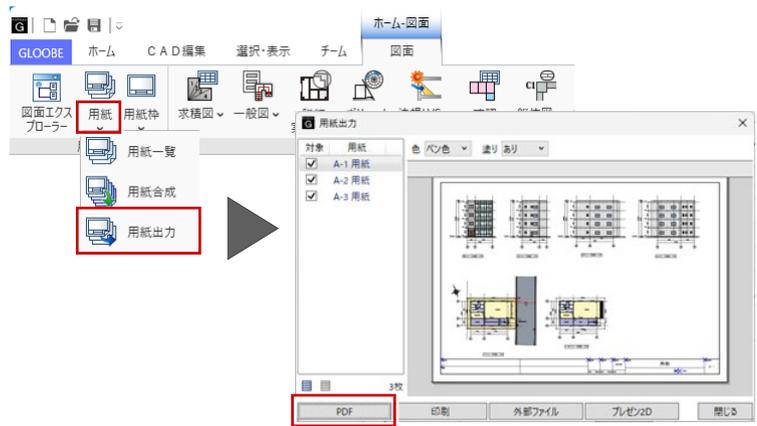
A種	B種	容積率不算入対象面積(m ²)	容積率対象面積(m ²)
R		0.00	0.00
1F		0.00	0.00
合計		0.00	0.00

図面・GLOOBE シート

用紙出力で PDF 出力に対応

用紙出力ダイアログに「PDF」ボタンを追加しました。

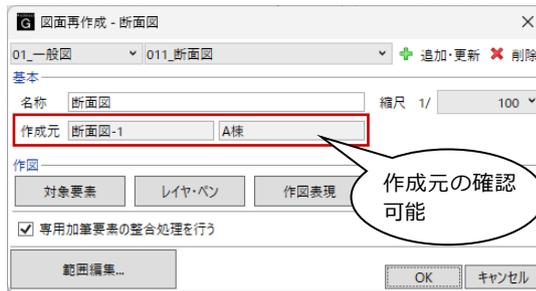
アンテナハウス社製の PDF ドライバー「Antenna House PDF Driver」を利用して、選択した図面を PDF ファイルに出力できるようになります。



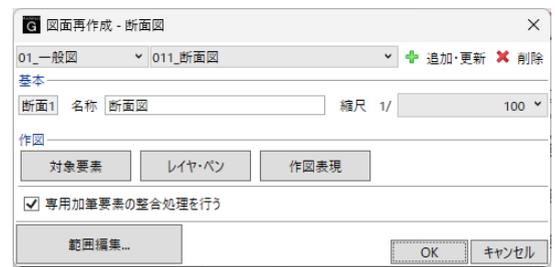
図面再作成で作成元を表示

建物グループが複数ある場合で、断面図や立面図などを再作成するときに、「図面再作成」ダイアログに作成元の建物グループが表示されるようになりました。

範囲編集ウィンドウを開くことなく、作成元を確認できるようになります。



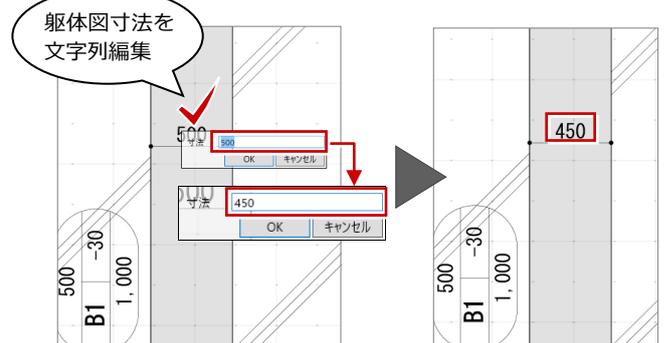
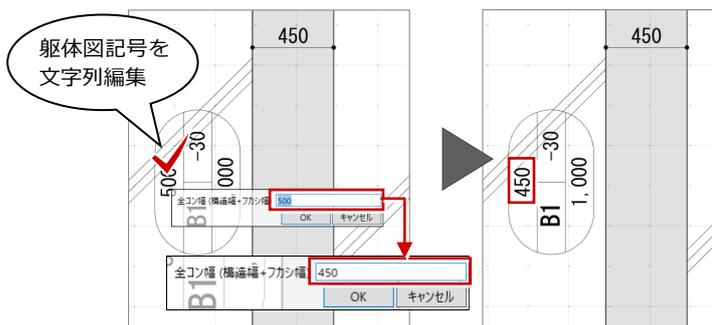
【GLOOBE2024】



【GLOOBE2023】

専用加筆文字列編集-躯体図記号・躯体図寸法線に対応

これまで、プロパティ引出線・ラベルなどの項目文字や、面積表・凡列表などの文字列を編集できましたが、躯体図記号・躯体図寸法線の文字列編集にも対応しました。

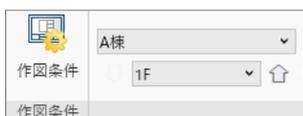
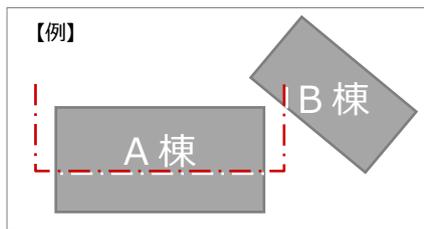


建物グループごとの作図対応（断面・立面図）

建物グループごとの作図に対応しました。特定の建物グループのみを対象として図面を作成できるようになりました。

「カレント建物グループのみ作図」追加

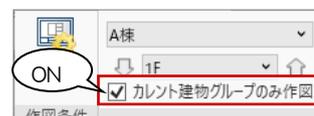
右図のようなモデル入力を例に、断面図を作成する際に、「カレント建物グループのみ作図」をON にすることで特定の建物グループのみの断面図・立面図を作成できます。



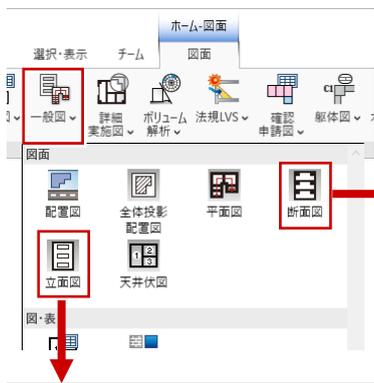
【GLOBE2023】



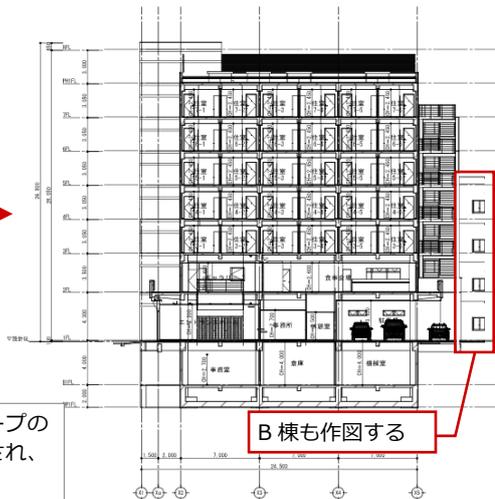
【GLOBE2024】



【GLOBE2024】



立面図も同様に、「カレント建物グループのみ作図」のチェックボックスが追加され、建物グループごとの作図が可能です。



B棟も作図する



A棟のみ作図する

作図のときの断面線・立面線の指定

「クイック指定」「詳細指定」ウィンドウで断面や立面を作成するときに、画面左上に表示の建物グループで指定した断面線、立面線のみ作図可能になります。指定した建物グループに切り替えると作図可能になります。

【断面図 詳細指定ウィンドウ】

